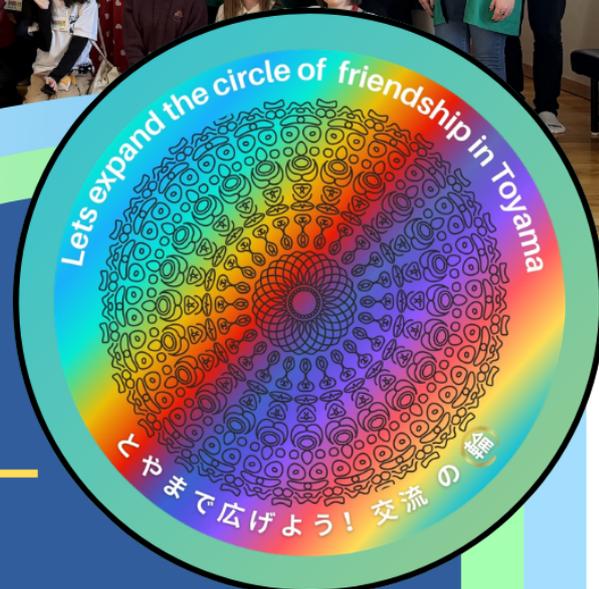


第31回

# JET世界まつり2026

Expand the Circle of Friendship in Toyama!

富山で広げよう！交流の輪！



## 報告書

日時：2026年2月15日 11:00～16:00

場所：富山県民共生センターサンフォルテ

主催：AJET JET世界まつり2026実行委員会

# JET 世界まつり 2026 実行委員紹介

委員長  
Chair



Tatiana Borduleva  
(Russia)

県国際課 ロシア国際交流員  
ボルデゥリョワ タチアナ



Q: 出身地はどこですか？

A: 出身はシベリアのノボシビルスク市ですが、もう何年間にわたって沿海地方のウラジオストクシに住んでいます。沿海地方と富山県は友好提携があり、様々な分野における交流を定期的に行われています。

Q: なぜ日本に来ました？

A: 小さい頃からアジアの国が魅力的だと思いました。そして、大学で日本語を専攻して、日本への留学、インターンシップや仕事で実際に日本に滞在し、非常に感動しました。本来も日本語に関わる仕事をしたいと思います。

Q: 夢は何ですか？

A: 小さな旅館かチーズ料理のお店を開業したいと思います。

副委員長  
Vice Chair



Lucas Tanaka  
(USA)

黒部市 国際交流員

ルーカス カーマイケル タナカ



Q: 出身はどこですか？

A: 生まれ育ちはアメリカのミネソタ州です。ミネソタ州はアメリカの中西部の北にあり、五大湖とカナダの国境の隣です。自然が美しく「一万の湖がある地」とも呼ばれています（本当は11,842あるけど）。

Q: 富山での生活でびっくりしたことがありますか？

A: 真冬に道路から水が出るのかな… 地元では気温が本当に低すぎて、そうやって水を出すと全て凍ってしまうのだ。だから少しびっくりしました。

Q: 富山に来てから思い出に残るエピソードがありますか？

A: 能登半島地震のことだね。アメリカにはあまり地震がないし、北陸地方も地震が少ないと聞いたから、まさかお正月に起こるなんて…そして、人生初めて避難しました。幸いにも黒部での被害は少なくてよかったです。

副委員長  
Vice Chair



Grant Lloyd  
(USA)

南砺市 国際交流員

グラント ロイド



Q: 出身は？

A: アメリカ南部テキサス州のヒューストンです！ スペースセンターが有名です。

Q: 日本の食べ物で一番好きなのは？

A: トンカツ。全国各地に様々なアレンジがあるので、旅行先などでいろいろなトンカツを食べてみるのが好きです。

Q: 富山に来て思い出に残ったエピソードは？

A: はじめて立山に登ったときです。出身地に山がないので、それまでは山登りをしたことがありませんでした。自分の体力や山の環境、日本の信仰についてわかり、雷鳥やカモシカまで見られてラッキーでした。

## 目次

はじめに.....	1
INTRODUCTION.....	2
JET 世界祭り 2026 概要.....	3
JET WORLD FESTIVAL 2025 OVERVIEW.....	4
広報活動・ボランティア募集.....	5
PROMOTION AND VOLUNTEER RECRUITMENT.....	6
国際ブース.....	7
INTERNATIONAL BOOTHS.....	8
ミニ言語カフェ・JET トークス.....	9
MINI LANGUAGE CAFÉ & JET TALKS.....	10
世界色々体験コーナー.....	11
MULTICULTURAL WORKSHOPS.....	12
ENGLISH CHAT.....	13
ENGLISH CHAT.....	14
アート&デザイン.....	15
ART & DESIGN.....	16
JET 世界まつり 2026 プログラム.....	17
JET 世界まつり 2026 来場者アンケート及び来場者の声.....	18
JET 世界まつり 2026 実行委員紹介.....	23

## はじめに

JET 世界まつり 2026 実行委員長  
ボルデウリョワ タチアナ（ロシア）

JET 世界祭りは毎年開催しており、今年は31回目となりました。県内のJETプログラム国際交流員（以下「CIR」という）が計画し、外国語指導助手（以下「ALT」という）や留学生、一般県民が力を合わせて運営する国際交流フェスティバルです。JET参加者が自分の国のことを紹介し、富山県民の皆様と交流を深めることを目的とし開催しました。



2年ぶりのサンフォルテでの開催となりました。今年のテーマは「富山で広げよう 交流の輪」でした。JETプログラム参加者を中心とした県内外国人の実施する企画を通して、富山を世界へ、そして世界を富山へ繋ぐ新たな一歩となることを期待して、このテーマにしました。

当日、快晴で冬とは思えない温かさに恵まれました。実行委員会は、12人の国際交流員で結成し、イベント経験者が多く、皆一丸となり、去年よりスムーズに準備を進めることができましたと思います。開催日が近づくにつれて、急な予定変更もあり、負担が大きくなってしまいましたが、皆で協力し合いながら会場運営もスムーズにできたと思います。

今年企画したコーナーは、毎年恒例の国際ブース、世界いろいろ体験コーナー、ミニ言語カフェ&JETトークス、Englishチャット、JETアート&デザイン展でした。各コーナーは段々人出が多くなり、ある時点でどこのコーナーも満員になりました。笑顔があふれる賑やかな一日でした。来場者向けにアンケートも実施しました。

今回のJET世界まつり2026の成功は、約50名を超えるスタッフ・ボランティアの皆様のご熱意と協力、そして約240名の来場者のご参加なくしてはありえません。実行委員会一同心より感謝申し上げます。来年も皆様と笑顔でお会いできることを楽しみにしております。今後ともよろしく願いいたします。来年もぜひご参加ください。

## Introduction

**Tatiana Borduleva**  
**Chair of the JET World Festival Executive Committee**

This year marked the thirty-first annual JET World Festival. The event is organized by Japan Exchange and Teaching (JET) Programme Coordinators for International Relations (CIRs) working within Toyama Prefecture, with support from Assistant Language Teachers (ALTs), international students, and local residents. Its goal is to provide an opportunity for JET participants to introduce their home countries and deepen their exchange with the people of Toyama Prefecture.

This year, the festival was held at Sunforte for the first time in two years. This year's theme, "Let's expand the circle of friendship in Toyama," was chosen with the hope that this event would represent a new step toward connecting Toyama with the world and vice versa. We were fortunate to have clear skies and unseasonably warm weather on the day of the event.

The organizing committee was made up of twelve CIRs, and by working together as one team, I believe we were able to prepare more smoothly than last year. Unforeseen schedule changes increased the workload as the event date approached, but by cooperating with one another, we were able to manage the venue operations smoothly.

Festival activities were organized into the following sections: International Booths, Multicultural Workshops, Mini Language Cafe & JET Talks, English Chat, and the JET Art & Design Exhibition. All of the sections attracted large crowds, and at one point, all of them were completely full. It was a day full of smiles and excitement.

The success of JET World Festival 2026 was made possible by the enthusiasm and cooperation of over fifty staff members and volunteers, as well as the participation of around 240 visitors. On behalf of the organizing committee, I would like to extend our sincere thanks to everyone involved. We look forward to welcoming you back next year!

## JET 世界祭り 2026 概要

- 1 目的 「語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)」により来県し、国際交流員(CIR)や外国語指導助手(ALT)として活躍中の外国青年(JET参加者)たちが、出身国について紹介し、富山県民の異文化に対する理解を深めるとともに、JET参加者と県民との交流を図る。
- 2 主催 AJET JET世界まつり2026実行委員会
- 3 後援 富山県、富山県教育委員会、(公財)とやま国際センター、富山市、富山市教育委員会、高岡市国際交流協会、北日本新聞社、富山新聞社、読売新聞北陸支社、中日新聞富山支局、NHK富山放送局、北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、富山県ケーブルテレビ協議会、富山エフエム放送
- 4 日時 令和8年2月15日(日) 11:00~16:00
- 5 会場 富山県民共生センター サンフォルテ
- 6 内容 国際ブース、世界いろいろ体験コーナー、ミニ言語カフェ、English Chat、アート&デザイン展示
- 7 実行委員会  
委員長 ボルデウリョワ タチアナ 県国際課 国際交流員  
副委員長 グラント ロイド 南砺市 国際交流員  
ルーカス カーマイクル タナカ 黒部市 国際交流員  
委員 アリス リース 県国際課 国際交流員  
ウ ヒョンジョン 県国際課 国際交流員  
許 琳琳 県国際課 国際交流員  
馮 曉瑜 県国際課 国際交流員  
マルコス ウエハラ 県国際課 国際交流員  
ラチャナ マリヤンワンタン 県国際課 国際交流員  
レ コン ヴォン 県国際課 国際交流員  
リークン ジン 高岡市 国際交流員  
ヨン ジェン 入善町 国際交流員

## JET World Festival 2025 Overview

- 1. Purpose:** Coordinators for International Relations (CIRs) and Assistant Language Teachers (ALTs) who are residing and working in Toyama Prefecture on the Japan Exchange & Teaching Programme (JET Programme) introduce their home countries, deepen prefectural residents' understanding of various cultures, and provide an opportunity for JET participants and other prefectural residents to interact.
- 2. Organizers:** AJET JET World Festival 2026 Executive Committee
- 3. Supporters:** Toyama Prefecture, Toyama Prefectural Board of Education, Toyama International Center, Toyama City, Toyama City Board of Education, Takaoka International Center, The Kitaniippon Shimbun, Toyama Shimbun, Yomiuri Shimbun Hokuriku Branch, Chunichi Shimbun Toyama Branch, NHK Toyama Broadcasting, Kitanihon Broadcasting Co., Ltd, Toyama Television Broadcasting Co., Ltd., Tulip-TV Inc., TOYAMA Cable Television Association, Toyama FM Broadcasting Co., Ltd.
- 4. Date:** February 15, 2026, 11:00-16:00
- 5. Venue:** Sunforte Toyama
- 6. Festival Activities:** International Booths, JET Talks, Mini Language Café, Multicultural Experience Workshops, English Chat, JET Art & Design Exhibit, Photo Contest,
- 7. Executive Committee:**

Chair:	Tatiana Borduleva	International Affairs Division CIR
Vice Chair:	Grant Lloyd	Nanto CIR
	Lucas Carmichael-Tanaka	Kurobe CIR
Members:	Alice Rees	International Affairs Division CIR
	Woo Hyeonjeong	International Affairs Division CIR
	Xu Linlin	International Affairs Division CIR
	Feng Xioyu	International Affairs Division CIR
	Marcos Uehara	International Affairs Division CIR
	Rachana Malyavantam	International Affairs Division CIR
	Le Cong Voung	International Affairs Division CIR
	Zheng Yung	Nyuzen CIR
	Zhikun Lin	Takaoka CIR

## 広報活動・ボランティア募集

### ボルデウリョワ タチア（ロシア）

今年の JET 世界まつりは例年と同様に JET プログラム参加者を中心として運営しました。8 月に行われた勤務及び生活に役立つ知識や情報などを提供する「富山オリエンテーション」や 11 月に行われた ALT の指導力等向上研修で JET 世界まつりの紹介と宣伝を行い、ALT ボランティア募集のチラシをそれぞれの研修等で配布しました。そして、すべての JET-ALT に 11 月からメールでボランティア募集を始めました。その他、県費留学生、ふれあい日本語教室たかおか、JET プログラム参加者と関わりがある一般県民の協力もいただき、合計で約 50 人のスタッフにご活躍いただきました。

広報活動のためのポスターやチラシは、富山県インド CIR のラチャナさんに作成していただきました。例年通り県内の全ての市町村の小・中・高等学校、支援学校、短大、大学などに送付しました。また後援をいただいている富山県庁やとやま国際センター、会場となったサンフォルテ、富山市国際交流協会などの施設にもポスターやチラシを置かせていただきました。そして、とやま国際センターと会場のホームページ、SNS 上でも宣伝支援をいただきました。その他、富山市内のマリエ、マルート、サンフォルテ、武道館、富山自遊館、市民プラザ、国際会議場、富山県民会館、CiC やサンシップとやま等の様々な施設で JET 世界まつりのポスターを展示していただきました。各 CIR も友人や同僚、語学講座の受講生などに宣伝し、富山県内の新聞やケーブルテレビ富山でもイベントの告知をさせていただきました。SNS も活用して JET 世界まつりの公式アカウントで宣伝しました。

公式 HP : <https://toyamazing.wordpress.com>

フェイスブック : [www.facebook.com/jetworldfestival/](http://www.facebook.com/jetworldfestival/)

インスタグラム : [www.instagram.com/jetworldfestival/](http://www.instagram.com/jetworldfestival/)

最後に、今後のより良い JET 世界まつりのために、ご来場の皆様にアンケートの協力をお願いしました。友人・知人を介して知った方が一番多く、これからもそのネットワークを広げ、JET 世界まつりの知名度を高め、アンケートをご記入していただいた貴重なご意見は来年の参考にさせていただきたいです。広報活動に協力した皆様、ボランティアの皆様は心より感謝申し上げます。

来場者から様々なコメントをいただきましたが、その中にはサンフォルテまで来ましたが、施設に入ると 1 階に何もなくてどこに行けばよく分からなくなりそのまま帰ってしまったという声もありました。また、海外の料理を試食できるカフェみたいところがあればよいという声もありました。

## Promotion and Volunteer Recruitment

**Tatiana Borduleva (Russia)**

This year's JET World Festival 2025 (JET Fest) was, as in most years, primarily run by JET Programme participants. We began introducing and promoting JET Fest using volunteer recruitment flyers at August's Toyama Orientation for new JET participants, as well as at the all-ALT Teaching Skills Development Seminar in November. We then sent out a recruitment email to all JET ALTs later that November. In total, we were able to work with around 50 staff members, including non-JET participants such as foreign exchange students and Fureai Takaoka Japanese Classroom volunteers.

Toyama's Indian CIR, Rachana, designed this year's promotional posters, which were sent out to all of Toyama's elementary, middle, and high schools, as well as all special education schools, junior colleges, and universities. We distributed posters and flyers to sponsors such as Toyama Prefecture, Toyama International Center, Sunforte (this year's venue), and the Toyama Cosmopolitan Association. We also placed posters at facilities in Toyama and the surrounding area, including Marier, Maroot, the Toyama Budokan, the Toyama Jiyukan, Toyama Shimin Plaza, Toyama International Conference Center, Toyama Kenmin Kaikan, CiC, and Sun Ship Toyama. We promoted the event on the TIC website and social media, by word of mouth, with advertisements in local newspapers and Toyama Cable Television, and on the following JET Fest official social media accounts:

Official Website : <https://toyamazing.wordpress.com>

Facebook : [www.facebook.com/jetworldfestival/](http://www.facebook.com/jetworldfestival/)

Instagram : [www.instagram.com/jetworldfestival/](http://www.instagram.com/jetworldfestival/)

Finally, in order to improve JET Fest in the future, we asked visitors to share their thoughts in a survey. Results indicated that the majority of our visitors heard about JET Fest through their friends, indicating the importance of word-of-mouth advertising. We will be glad to use these survey results as a vital reference as we prepare for next year. We are extremely grateful to all those who helped with promotion and as volunteers this year.

## 国際ブース

ラチャナ マリヤンワンタン (インド)

許 琳琳 (中国)

馮 曉瑜 (中国)

国際ブースは、JET 世界まつりの定番コーナーとして、毎年開催されています。JET 参加者が出身国やルーツを持つ国について紹介するブースを設け、写真や資料、クイズや簡単な遊びなどを通して、来場者に世界各国のさまざまな文化を紹介しています。今年は、合計 13 カ国および 1 地域、さらに 2 団体ほどが出展しました。

**【事前準備】** まず、JET 世界まつりの申し込みが完了した 1 月初旬に、スタッフへ国際ブースの概要（活動内容、前年度の展示内容、会場で提供する機材など）を共有し、希望する展示内容（国・地域・団体の活動紹介など）について確認を行いました。一昨年と同じ会場を使用することから、前回のブース数および会場スペースを考慮し、配置の調整を行いました。1 月下旬頃には参加ブースをおおよそ確定し、各ブースへ過去の展示物の有無について連絡しました。あわせて、展示物の印刷やラミネート加工などの準備も行いました。

**【当日】** 今年も昨年と同様に、多くの来場者が積極的にブースを回り、交流を楽しんでくださいました。会場全体が活気にあふれ、各ブースではクイズやゲーム、各国のお金や歴史上の人物の紹介、有名な観光地の写真展示などを通して、和やかな雰囲気の中で交流が行われました。

**【改善点】** ブース数確認のために事前に送付したアンケートに未回答の ALT の方がいらっしや、直前に確認のご連絡をいただき、レイアウトを急遽調整する必要がありました。

今後は、事前確認をより徹底したいと思います。

今年は全体として大きなトラブルもなく、無事に終わることができました。関係者の皆様のご協力のおかげで、スムーズに運営することができたことに心より感謝申し上げます。来年もより良い運営ができるよう、今回の経験を活かしていきたいと思っています。ありがとうございました。



## International Booths

Rachana Malyavantam (India)

Xu Linlin (China)

Feng Xiaoyu (China)

Every year, the international booth takes place as a signature section of the JET World Festival. JET participants set up booths to introduce their home countries or countries of origin, sharing photos, materials, easy quizzes, and simple games to give visitors a taste of the world's diverse cultures. This year, a total of thirteen countries, one region, and two organizations participated.

**Preparation:** In early January, after the JET World Festival applications were closed, we shared an overview of the international booth with the staff—including activities, last year's exhibits, and the equipment available at the venue—and confirmed the exhibition content they wished to present, such as introducing a country, region, or organization. The venue was the same as the year before last; therefore, we adjusted the layout in consideration of the previous number of booths and the available space. By late January, we roughly finalized the participating booths and contacted each one to confirm whether they had any display material from the past years. We supported them with printing and laminating the exhibition materials.



**The Day Of:** Just like in previous years, many visitors actively visited the booths and enjoyed interacting with the exhibitors. The entire venue was lively, and at each booth, participants engaged in quizzes or games, learned about each country's currency and historical personalities, and viewed photos of famous tourist sites.

**Comments:** One ALT had not responded to the pre-event google form we sent to confirm the number of booths, and we received a last-minute response, requiring us to make urgent adjustments in the layout and other display materials. In the future, plan to ensure that pre-event confirmations are handled more thoroughly.

Overall, this year's event concluded smoothly and without any major issues. We are sincerely grateful for the support and cooperation of everyone involved—without your contributions, it would not have been possible to execute the event so successfully. We look forward to building on this experience and achieving even higher standards of management and excellence next year. Thank you very much.

## ミニ言語カフェ・JET トークス

マルコス ウエハラ (ブラジル)  
ジークン リン (アメリカ)  
レ コン ヴォン (ベトナム)

今年度は、ミニ言語カフェの講師4名、JET トークスの講師1名を迎えました。言語講座ではギリシャ語、テルグ語、中国語、ドイツ語の4か国語を実施し、各30分間行われました。JET トークスはイギリスのフェスティバルをテーマに、通訳を含めて1時間行いました。講座の最後には、学習した言語の国のお菓子とお茶を配布しました。すべての講座は305号室で行われました。



**【事前準備】** 言語講座またはJET トークスの講師に興味を示したALTに連絡し、プレゼンの基本情報を記載した提案書を提出してもらいました。お菓子とお茶は前年度を参考に講師と相談して選び、事前に個別のビニール袋にまとめました。開催1週間前には、全員のプレゼン資料をメールで回収し、当日使用するパソコンに保存しました。

**【当日】** 機材の設置、講師との打ち合わせ、通訳、景品の配布を行いました。参加者は各回16~24名ほどでした。最初の3セッションはほぼ満席(24名)となりました。後半の2セッションは、半分空席の状態が始まり、途中でまた数名の方が入室しました。

**【改善点】** 全体として、イベントは円滑に進行しました。講師陣の魅力とスキルの高さにより、ほとんどの参加者が熱心に受講していました。アクティビティ中の指示もよく通り、学んだばかりの単語を楽しく発音する姿が多く見られました。JET トークスの一部には社会科学や歴史といった専門的な内容が含まれていましたが、参加者は明らかに興味を持っていました。プレゼンは40分で終了したあと、質疑応答も終了時間まで活発に行われました。

講座ごとに15分の休憩だけあり、パソコンとプロジェクターの設置に時間がぎりぎりなので、当日はすべての講座で同じパソコンを使用することをおすすめします。JET トークスのプレゼン資料を早めに回収し、スライドに日本語を併記できるよう講師と調整してください。会場で十分な音量を確保するためにマイクが必要な場合は、通訳用としてもう1本追加で申請することを忘れないでください。



## Mini Language Café & JET Talks

**Marcos Uehara (Brazil)**  
**Zhikun Lin (United States)**  
**Le Cong Vuong (Vietnam)**

This year, there were four presenters for Mini Language Café (Greek, Telugu, Chinese, and German), and one presenter for JET Talks (on festivals in the U.K.). Language lessons lasted thirty minutes, and the JET Talk lasted one hour. At the end of the language lessons, we handed out snacks and tea bags. All presentations were done in room 305, with seating for a maximum of twenty-four guests.

**Preparation:** We collected proposal sheets from ALTs containing basic information about their presentations. We chose snacks and teas for the lessons referencing last year's choices and after consulting with presenters. We packed snacks and teas in individual plastic bags ahead of time. A week before the event we collected everyone's presentation materials by email.

**The Day Of:** Each session attracted between sixteen to twenty-four participants. The first three sessions almost all had a full room, but the fourth and fifth session started with half of the seats occupied, with a few more coming in later on.

**Reflections:** The event went smoothly overall. Most participants engaged well with language lessons, thanks to the charm and competency of our presenters. Most guests followed instructions well during the activities in each lesson, and many sounded out the new words they'd just learned with enthusiasm. Although parts of the JET talk pertained to more difficult subject matters (social science and history), listeners were clearly interested, asking questions from the forty-minute mark until the end of the hour.

Contact ALT leaders early to establish the potential program. Discourage use of personal laptops for the presentations, in case of technical difficulties, as the fifteen-minute break time is a bit short for setting up between lessons. For JET Talks, acquire presentations slightly early and work with the presenters to possibly add Japanese texts to the presentation slides. Make sure to apply for an additional microphone for the interpreter if the venue requires a microphone for adequate volume.



## 世界色々体験コーナー

グラント ロイド (アメリカ)  
ルーカス カーマイクル タナカ (アメリカ)  
ウ ヒョンジョン (韓国)

ほとんどのコーナーが会場の3階で開催された中、本コーナーは4階に設置しました。4階全体を使用し、スペースを多目的スタジオと廊下に分け、2つのアクティビティが同時に実施できるようにしました。

【当日】多目的スタジオでは、スケジュールを決め講座型の体験を実施しました。ほとんどのアクティビティに20名以上が参加し、一日中賑やかな雰囲気で行われました。廊下では「クリエイティブ・コーナー」を3つ実施しました。エレベーター前の廊下を活用し、指定時間終了後もすぐには撤収せず、興味のある方が引き続き参加できるよう、柔軟に運営しました。その結果、指定時間より遅れて来場した方も気軽に体験でき、特に家族連れや子どもから喜ばれました。そして、今年度は各講師に必要物品を直接購入していただき、領収書にて精算する形を取りました。例年の主催側による手配と比べ、よりスムーズに準備を進めることができたと考えます。



【改善点】一方で、本コーナーが4階に位置していた関係で廊下も活用でき、より充実したプログラムにできたものの、ほかの会場から離れていたため、受付で来場者への声掛けを行っていただくなど、例年よりも誘客に力を入れる必要がありました。来年度以降は客の動線などメリットとデメリットを比較して会場の配置を考え、デメリットに対応できる方法を用意する必要があると考えます。

また、当日予定していたヘナ体験の講師が欠席する想定外の出来事もありましたが、在庫にあった道具を活用し、代替プログラムとしてフェイスペインティングに切り替えることができました。今後も類似の状況に備え、予備の体験プログラムや道具を用意しておく必要があると考えます。

今年も講師をはじめ多くのスタッフ・ボランティアのご協力によりコーナーを盛り上げることができました。来年もよろしくお祈りします！ 以上のとおり、今年の世界いろいろ体験コーナーは、空間活用および人員配置の面で概ね安定した運営ができたと考えます。

## Multicultural Workshops

Grant Loyd (United States)

Lucas Carmichael-Tanaka (United States)

Woo Hyeonjeong (South Korea)

Our section was located on the fourth floor, separate from the rest of the festival, which took place on the third floor. We used the multipurpose studio and its adjoining hallway as two separate spaces to allow two activities to take place at once.

**The Day Of:** Activities in the multipurpose studio were run in a lecture format with a fixed schedule. Most attracted at least twenty people. "Creative Corner" activities, meanwhile, were held in the hallway with a flexible schedule. This allowed interested participants to join activities after their time slot had ended, something especially appreciated by families and children.

**Reflections:** Instructors purchased their own materials and were reimbursed upon submission of receipts. We felt that this method allowed preparations to proceed more smoothly than gathering materials ourselves. Our section's location allowed us to use the fourth-floor hallway for activities, increasing the richness of our section's offerings; it also,



however, set us apart from the rest of the venue and required us to put more effort than usual into attracting participants, such as asking the reception desk to advertise our section to visitors. In the future, organizers should carefully consider the costs and benefits of possible venue layouts and plan to compensate for any foreseeable downsides.

One instructor was absent on the day of the event, and their workshop had to be cancelled. Fortunately, however, we were able to make use of materials already in storage and switch to face painting as an alternative activity. We suggest that organizers prepare backup programs and materials in case similar situations arise in the future.

We would like to offer a big thanks to everyone involved in making our section a success. We look forward to working with you again next year!

## English Chat

アリス リース (アメリカ)  
ジェン ヨン (アメリカ)

今年度の English Chat では、リーダー計 9 名を 4 つの時間枠に配置し、来場者と英語で楽しく交流する場を運営しました。来場者との会話をスムーズに進めるため、事前準備としてリーダーの自己紹介文と、さまざまなテーマを印刷したテーマカードを用意しました。また、昨年に引き続き、スタッフおよび来場者向けに飲み物（お水・お茶 各 24 本）を用意しました。

各時間枠にはアシスタントを 2 名以上配置し、混雑している時間帯は来場者を分担する形で会話への参加を手伝いました。来場者の受付・案内は CIR 2 名が担当しました。

当日の参加者数は想定をやや下回りました。第 1 時間枠および第 2 時間枠では、1 テーブルあたり来場者 2~4 名程度の参加が見られ、次の時間枠も同様の状況でした。一方、第 3 時間枠（14:00~14:45）以降は徐々に満席に近い状況となり、時間帯によって混雑に差がありました。

【改善点】 現行の予定では、リーダー 1 名あたり最大 7 名程度の対応となる場面がありました。そのため、リーダーと十分に会話できていない来場者がスマートフォンを見て待っている様子が複数回見られました。今後は混雑する時間帯に合わせてリーダーを増やし、時間帯に応じて人数を調整することが望ましいです。



また、アシスタントの役割が事前に十分共有されていなかったため、当日は飲み物の配布や椅子の調整以外に動きづらい場面がありました。特に、日本語での案内ができないアシスタントは来場者対応に入りにくく、結果として手持ち無沙汰になってしまうことがありました。実際に、テーブルに入らず周辺で

様子を見るだけになっているアシスタントも数名見られました。

今後は、アシスタントにお願いしたい動き（例：空いている席への声かけ、混雑時会話の輪に入って参加する、参加者が偏らないよう席の入れ替えを促す等）を事前に具体的に決め、当日も分かりやすく共有したいです。

## English Chat

Alice Rees (United States)  
Zheng Yung (United States)

This year's English Chat featured nine ALT staff leaders in four shifts throughout the day, in which each sat at a table and spoke to guests in English on a variety of topics. We prepared each leader's self-introduction and conversation cards to be placed at their table in order to allow the conversation to flow more smoothly. Continuing from last year, we also provided drinks (water and tea) for guests.



Each shift also had two or more ALT assistants who helped at crowded tables that couldn't be covered by a single leader. However, the first two shifts of the day had fewer visitors than expected, with only two to four per table, but the third shift (from 14:00–14:45) saw most seats at all the tables full. It was hard to predict when the corner would get more crowded, particularly with some guests staying from the previous shift even during break times. At such times, one of the CIRs would change from directing and welcoming guests at the door to being more active in the conversation at the table.

**Reflections:** With our original setup, the ratio of leaders to guests was about 1:7, which may have led to them being unable to speak to everyone at their table. In such cases, it would be better to increase the number of leaders during crowded shifts such as later in the afternoon.

On the other hand, as we weren't able to properly explain to assistants what they should do besides pass out drinks or adjust seats at the tables, and for those with limited Japanese, it was hard for them to contribute to greeting or guiding guests. Some assistants were left standing on the side without joining in at a table or left the room during a shift, so we felt that it might be better in the future to give clear instructions, both in advance and on the day of, about how to be proactive and make guests feel more welcome. This would include participating directly at the tables or making sure each table has a balanced number of people.

## アート&デザイン

アリス リース (アメリカ)  
ジェン ヨン (アメリカ)

今年度はスタッフ6名より、合計25点の作品提出がありました。作品内容は、オリジナルキャラクターイラスト、デジタルアート、シール配布、スケッチブック、クロスステッチなど、いろいろな種類がありました。展示にあたり、作者紹介文・作品名・作品解説文を事前に作成してもらい、当日は作品と併せて翻訳資料を展示しました。

また、作品を運ぶ際の破損や紛失のリスクを考え、プリントやラミネートが必要な場合を除き、作品は各自イベント当日に持参してもらうようお願いしました。

今年度は例年と異なり、想定を大きく上回る作品数が集まりました。初回募集時点では応募が少ない状況でしたが、世界まつりの全スタッフへ再度募集案内を行った結果、追加でスタッフ1名および元CIR1名より作品を提出していただきました。当日は、他スタッフがホワイトボードに自由に描き込みを行うなど、会場全体がより創作的な雰囲気となり、たくさんの作品が部屋を彩りました。

今回のように、全スタッフに向けて再度募集案内を行うことで、より多く、より幅広い作品が集まりやすくなると考えられます。

【改善点】また今後に向けては、作品を展示するだけでなく、作者がコーナーにいる時間を作り、来場者に作品の説明や制作背景を紹介できる形も検討したいです。例えば、今年は作者の一人が会場に来場者に作品について説明しながらステッカーを配布しており、来場者との交流が自然に生まれていました。



## Art & Design

Alice Rees (United States)  
Zheng Yung (United States)

The Art & Design corner displayed a total of twenty-five pieces from six staff members, which included original character illustrations, digital art, stickers that were free to take home, a sketchbook, and cross-stitched pieces. Next to these pieces, we included an artist introduction along with the titles and descriptions of the submitted pieces, which we also provided Japanese translations for guests to read. We additionally asked artists to bring their works with them on the day of the event to ensure they would not be lost or damaged.

Compared to last year, we received a great deal more submissions, though these were initially few at first. Thanks to extending the submission deadline and the contributions of a former CIR who became a staff member, we were able to fully utilize the entire Art & Design corner and even had artists draw on the whiteboard during set-up time, transforming it further into a creative space. Once again, having these pieces



on display in the English Chat room allowed participants to come and go freely and stop by at any seats that were open.

**Reflections:** An idea we had for the future was to allow artists a shift at the corner to stand near their works and introduce them to guests, many of whom were extremely interested in meeting the artist themselves and share their appreciation for their works. This year, the artist who designed the free stickers was able to explain their designs and give visitors their stickers directly, which was quite popular, particularly with families. This created even more opportunities for exchange, and we feel it would be very successful going forward if we were to continue to have Art & Design and English Chat in the same room, where staff shifts could be managed easily.

# JET 世界まつり 2026 プログラム

## JET World Festival 2026 Program

### 2026 JET 世界まつり

## JET World Festival 2026

令和8年2月15日(日) Sunday Feb. 15<sup>th</sup>, 2026  
サンフォルテ 富山市湊入船町6-7  
Sun Forte, 6-7 Minato Irifunecho, Toyama City  
11:00開始 (Doors Open) 16:00閉会式 (Closing Ceremony)

**2026 JET 世界まつり** **入場無料**

**304** **イングリッシュチャット**  
English Chat

**アート&デザイン展**  
Art & Design Exhibit

富山県各地の学校で活躍しているALT (外国語指導助手) の方と英語で楽しく話しましょう!  
Speak English with ALTs from various countries working in schools all over Toyama Prefecture!

アート&デザイン展では、JET参加者が制作した美術品やデザイン作品を展示します。  
The Art & Design Exhibit showcases artwork and design items created by Toyama JETs.

**3F**

<b>304</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イングリッシュチャット English Chat</li> <li>アート&amp;デザイン展 Art &amp; Design Exhibit</li> </ul>
<b>305</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミニ言語カフェ Mini Language Cafe</li> <li>JETトークス JET Talks</li> </ul>
<b>308</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際ブース International Booths</li> </ul>

**305** **ミニ言語カフェ&JETトークス**  
Mini Language Cafe & JET Talks

時間	国旗	講座・発表 Title	発表者 Presenter
11:30 - 12:00		ギリシャ語 Greek	エミリアン ヒル Emily Ann Hill
12:15 - 12:45		サウラーシュトラ語 Saurashtra	カンダル アビラシャ Abilasha Kandalu
13:00-14:00		お祭り気分: ストーンヘンジからグラストンベリーまで That Festival Feeling: From Stonehenge to Glastonbury	ジャズ・ビッグデン Jaz Bigden
14:15 - 14:45		中国語 (官話) Mandarin	アンドリュー・リンとケビンクオ Andrew Lin & Kevin Kuo
15:00-15:30		ドイツ語 German	ケビンクオ Kevin Kuo

**4F**

**多目的スタジオ**  
Multipurpose Studio

**廊下**  
Hallway

- 世界色々体験コーナー Multicultural Workshops

**4F** **世界色々体験コーナー**  
Multicultural Workshops

時間	活動 Activity	発表者 Presenter
11:10-11:30	チェスの歴史と文化 Chess History and Culture	フレデリック アゼチ Frederick Azechi
11:45-12:45	フェアリーモデルを作ろう Fairy Mobiles	リモナ リヴィー Rimona Livia
13:00-14:00	ジャグリングワークショップ Juggling Workshop	Mr. ノリック Mr. Norick
14:10-15:00	ムエタイ Muay Thai	コーディ サイツ Cody Seitz
15:05 - 15:35	ザ・ナットブッシュ (オーストラリア踊り) The Nutbush (Australian dance)	ジェシカ クーパー & ジェマ モレット Jessica Cooper & Jemma Moretti

**クリエイティブ・コーナー** Creative Corner

時間	活動 Activity	発表者 Presenter
11:35-12:30	チェスパズル&チェスゲーム Chess Puzzles & Games	フレデリック アゼチ Frederick Azechi
12:45-13:45	ヘナ Henna	エマ レイバー Emma Laver
14:00-15:30	モタンカ人形を作ろう Motanka Dolls	オルロヴァ オリガ & ベズルク タリア Orlova Olga & Bezruk Daria

**308** **国際ブース**  
International Booths

インド India

ブラジル Brazil

中国 China

アイルランド Ireland

韓国 South Korea

ベトナム Vietnam

ロシア Russia

アメリカ United States

オーストラリア Australia

インドネシア Indonesia

イギリス United Kingdom

フィリピン Philippines

アメリカ合衆国オレゴン州 Oregon, United States

高岡市国際交流協会 Takaoka International Exchange Association

上れあひ日本語教室たかおか Fureai Japanese Classroom Takaoka

Facebook Like our page 「いいね!」

Follow us on 「フォロー」 Instagram

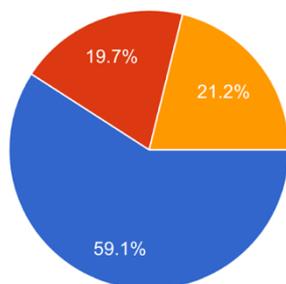
主催: AJET JET世界まつり2026実行委員会 AJET JET World Festival 2026 Executive Committee  
Homepage: <https://toyamazine.wordpress.com> E-mail: [toyama\\_jet.festival@gmail.com](mailto:toyama_jet.festival@gmail.com)

# JET 世界まつり 2026 来場者アンケート及び来場者の声

## JET World Festival 2026 Survey and Visitor Feedback

以前「JET世界まつり」に参加したことがありますか？

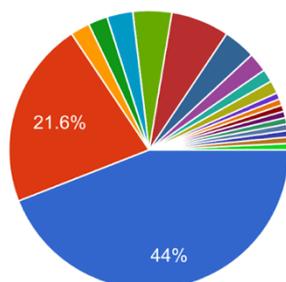
137 件の回答



- いいえ、初めてです。 No, this was my 1st time.
- はい、2 回目です。 Yes, this was my 2nd time.
- はい、3 回目以上です。 Yes, 3rd time or more.

どこから来ましたか？（都道府県・市町村）

134 件の回答

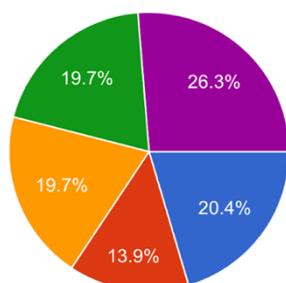


- 富山県富山市/Toyama City
- 富山県高岡市/Takaoka
- 富山県黒部市/Kurobe
- 富山県南砺市/Nanto
- 富山県魚津市/Uozu
- 富山県氷見市/Himi
- 富山県朝日町/Asahi
- 富山県滑川市/Namerikawa

▲ 1/3 ▼

年齢

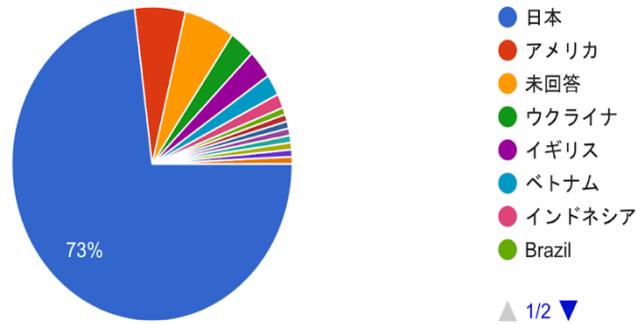
137 件の回答



- 19歳以下 (19 or under)
- 20代 (20-29)
- 30代 (30-39)
- 40代 (40-49)
- 50代以上 (50+)

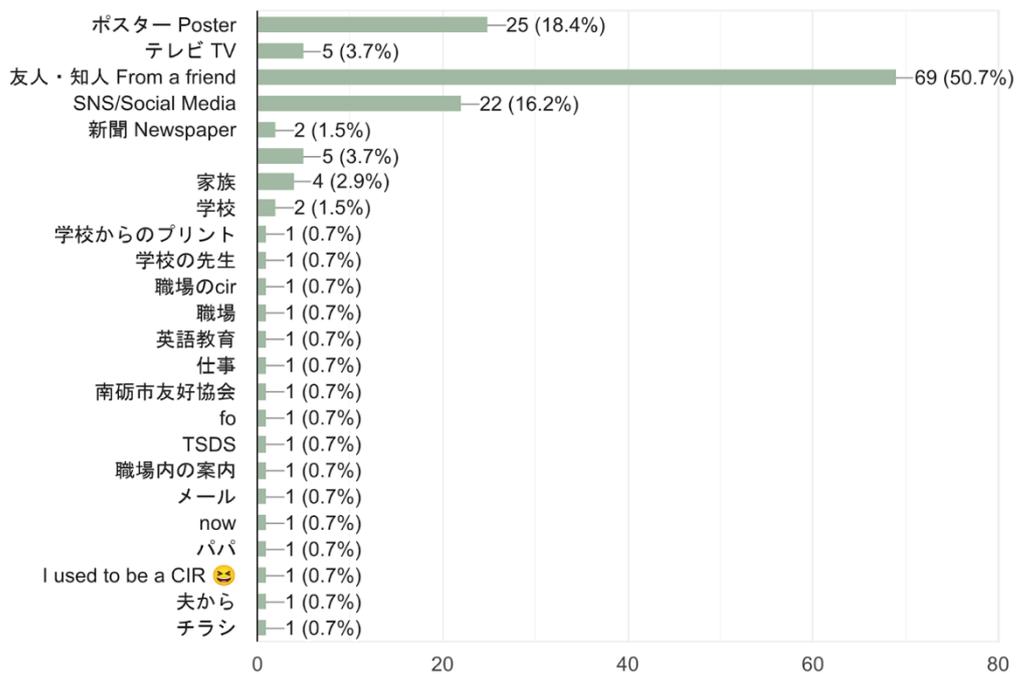
## 国籍

137 件の回答



## どこでJET世界まつりのことを知りましたか？

136 件の回答



来場者の声  
Visitor Feedback

「楽しかったです。また来年も来ます。」

「楽しい時間、ありがとうございました。」

「とても楽しかったのでまた参加したいです！」

「たのしかった！！♡」

「たべたかったなー I wanted to have something to eat」

「カフェとかでちょっと外国の食べ物を味わってみたい」

「中学校、高校校への周知を行い、学生をもっと夜呼び込めたらよいと思う。  
他文化への学び、入門に良い機会だと思うが、若い人の来訪が少ない。」

「国際ブースの国籍を増やしてくれると嬉しい。」

“Mini Gengo Cafe was especially interesting this year. The booths were also very elaborate. One of the ALTs was telling me that they would have liked to perform on stage, so maybe consider bringing back stage performances?”

## 参考資料

### ○「語学指導を行う外国青年招致事業（JET プログラム）について

JET プログラム（The Japan Exchange and Teaching Programme）は、総務省、外務省、文部科学省の協力のもと、地方公共団体（都道府県、政令指定都市及び市町村）が外国青年を招致する事業で、外国語教育の充実をはかるとともに、地域レベルでの国際交流を推進することを目的としています。これまでに日本全国で世界75ヶ国から70,000人以上の外国青年を招致している世界最大規模の交流プログラムです。2025年で39年目を迎えました。

#### JET 参加者の職種と職務

<b>国際交流員</b> CIR : Coordinator for International Relations 県庁や市役所等で国際交流や異文化理解の活動の補助や協力をしています。
<b>外国語指導助手</b> ALT : Assistant Language Teacher 小・中学校、高等学校等で外国語の授業・活動の補助や地域の国際交流活動の協力をしています。
<b>スポーツ国際交流員</b> SEA : Sport Exchange Advisor 地域・学校等におけるスポーツ指導への協力を行っています。（※現在富山県内には配置なし）

### ○富山県内の JET 参加者について

富山県では、昭和63年度に外国語指導助手5名を招致して以来、多くの外国青年を受け入れてきました。令和7年度は100名のJET参加者を招致しました。

#### 招致人数推移

年度	昭 63	平 5	平 10	平 15	平 20	平 25	平 30	令 1	令 2	令 3	令 4	令 5	令 6	令 7
CIR	0	0	13	13	12	10	11	12	9	10	10	12	12	12
ALT	5	7	114	118	85	80	84	88	62	74	88	88	88	88
SEA	0	0	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	5	7	131	136	97	90	95	100	71	84	98	100	100	100

#### 国別招致者数（令和7年度）

出身国	人数	出身国	人数
アメリカ	65	南アフリカ	3
イギリス	11	ジャマイカ	1
カナダ	4	トリニダード・トバゴ	2
アイルランド	1	ブラジル	1
中国	2	韓国	1
フィリピン	3	インド	1
ニュージーランド	1	ベトナム	1
オーストラリア	2	ロシア	1

○「JET 世界まつり」について

県内で活躍している JET プログラム参加者たちが中心となり、出身国・地域についての紹介やステージ発表などを通して、県民の異文化理解を深め、県民と JET プログラム参加者の交流を図る目的でスタートし、今回で31回目を迎えました！

年	市町村	会場	年	市町村	会場
1996	黒部市	黒部市国際文化センター コラーレ	2013	黒部市	黒部市国際文化センター コラーレ
1997	高岡市	ふれあい福祉センター	2014	富山市	富山市民プラザ
1998	富山市	富山県民共生センター サンフォルテ	2015	富山市	富山県民共生センター サンフォルテ
1999	小矢部市	クロスランド小矢部	2016	富山市	富山県民共生センター サンフォルテ
2000	婦中町	婦中町ふれあい館	2017	富山市	富山県民共生センター サンフォルテ
2001	黒部市	黒部市国際文化センター コラーレ	2018	富山市	富山県民共生センター サンフォルテ
2002	新湊市	新湊市中央文化会館	2019	富山市	富山国際会議場
2003	高岡市	ふれあい福祉センター	2020	富山市	タワー111
2004	魚津市	魚津テクノスポーツドーム ありそドーム	2021	南砺市	福野文化創造センター ヘリオス
2005	福岡町	福岡町総合町民センター Uホール		高岡市	ふくおか総合文化センター Uホール
2006	滑川市	サン・アビリティーズ		黒部市	黒部市国際文化センター コラーレ
2007	富山市	富山市民プラザ		富山市	富山ステーションフロント CiC3階
2008	射水市	アイザック小杉文化ホール ラポール	2022	高岡市	ウイング・ウイング高岡
2009	黒部市	黒部市国際文化センター コラーレ	2023	富山市	富山国際会議場
2010	高岡市	ウイング・ウイング高岡	2024	富山市	富山県民共生センター サンフォルテ
2011	富山市	グランドプラザ	2025	高岡市	ウイング・ウイング高岡
2012	高岡市	ウイング・ウイング高岡	2026	富山市	富山県民共生センター サンフォルテ

○「とやま名誉友好大使」について

富山県を広く外国に紹介するため、適任と思われる本県在住外国人の方が帰国される際、「とやま名誉友好大使」の称号を授与し、諸国と富山県との「架け橋」として活躍してもらっています。これまでも多くの JET 参加者が名誉友好大使に委嘱されています。

○AJET (The Association for Japan Exchange and Teaching) について

JET 参加者で作る親睦団体で、富山県の AJET は全国でも活動が盛んだと言われています。JET 世界まつりをはじめとして、広く県民のためとなる活動を行っています。

JET プログラム等に関する詳しい情報は・・・

○JET プログラムのページ：（公財）自治体国際化協会

<http://jetprogramme.org/ja/>

○富山県国際交流員ブログ

<http://toyamacir.net/>

# JET 世界まつり 2026 実行委員紹介

## JET World Festival 2026 Executive Committee Members



Xu Linlin  
(China)

### 県国際課 中国国際交流員 キョ・リンリン (許・琳琳)



**Q: 出身はどこですか？**

A: 中国の遼寧省です。

**Q: 富山に住んでいて一番良いと思うところは？**

A: 富山に住んでいて一番良いと思うところは、富山湾に恵まれ、四季を通じて旬の魚を使ったおいしい料理を堪能できることです。食を通じて季節の移ろいを感じられるのも、富山ならではの魅力だと思います。

**Q: 富山での生活で一番びっくりしたことがありますか？**

A: 雪の質の違いです。富山の雪は湿っていて重いものに対して、出身地である中国・遼寧省は東北部に位置し、気候が乾燥しています。そのため、遼寧省の雪がサラサラしていて、雪が降るときでも傘をさす必要がありません。最初に富山が雪シーズンに入った頃は、その感覚の違いから、つい傘を忘れてしまうことがよくありました。



Feng Xiaoyu  
(China)

### 県国際課 中国国際交流員 ヒョウ・ギョウユ (馮・曉瑜)



**Q: 出身はどこですか？**

A: 中国の上海市です。

**Q: 富山に住んでいて一番良いと思うところは？**

A: 富山に住んでいて一番良いと思うところは、立山連峰の美しい景色を身近に感じられることです。四季ごとに表情を変える山々は本当に魅力的です。また、新鮮な海の幸が豊富で、お寿司がとておいしいところも大きな魅力だと思います。

**Q: 日本の食べ物で一番好きなのは？**

A: お寿司です。特に冬の寒ぶりは脂がのっていて、とてもおいしいです。富山で初めて食べて、そのおいしさにとても感動しました。



Marcos Uehara  
(Brazil)

### 県国際課 ポルトガル語国際交流員 マルコス ウエハラ



**Q: 出身地はどこですか？**

A: 南米最大の都市であるサンパウロで生まれました。サンパウロはブラジルの経済の中心地であり、日本国外で最大の日系社会を誇る街でもあります。そのため、本格的な日本食レストランや日本食スーパーも身近にあり、多文化を身近に感じられる点が大きな魅力です。中国の上海市です。

**Q: なぜ日本に来ました？**

A: 幼少期から中学1年生までは群馬県で育ち、今回は約10年ぶりの日本での生活となります。国際交流員として、自身のルーツである日本とブラジルの懸け橋となり、両国の交流に貢献したいと考え、日本に来ました。また、日本文化への理解を深めるとともに、日々日本語力の向上にも努めています。

**Q: 富山に来てから思い出に残るエピソードがありますか？**

A: 最近、スノーボードを始めました。雪が降らない南国のブラジル出身の私にとって、最初の冬は「家にもって寒さから逃げよう」と思っていたのですが、新しい趣味に出会うことができ本当によかったです。スキー場で美しい富山の雪山を満喫し、帰りには立山連峰を背にした富山市の景色を眺めながら、地元の美味しいレストランに立ち寄りそれが今では毎週末の楽しみになっています。



Alice Rees  
(United States)

## 県国際課 英語圏国際交流員 アリス リース



**Q: 出身はどこですか？**

A: アメリカ合衆国の南西部にあるニューメキシコ州のサンタフェ市です！  
アメリカの最古州都で、メキシコと先住民の文化が交わって不思議な街です。砂漠に見えますが、山に囲まれているので冬に雪がちゃんと降りますよ！

**Q: 母国名がタイトルに入っているトップ5の歌は？**

A: アメリカが出る歌はたくさんありますが、私のプチプレイリストは：1. テイラー・スウィフトの「the last great american dynasty」2. オリヴィア・ロドリゴの「so american」3. ドン・マクレーンの「American Pie」4. テイラー・スウィフトの「Miss Americana and the Heartbreak Prince」5. グリーン・デイの「American Idiot」  
ポップスやロック音楽が好きなので、ぜひ聴いてみてください！

**Q: 富山での生活で一番びっくりしたことがありますか？**

A: CIR1年目の時に「スプリンクラー」と呼びましたが、その後「融雪」という名前を付けている路上や普通の道に設置してあるものの存在に非常にびっくりしました。最初に路上の照明が何かだと思い込んだが、冬になったら水が出てくることを見てショックでした！そして、通りかかっている時に何度も濡れてしまいました…アメリカでは普通に塩や砂をばらまいて雪を解かすが、富山は水が多すぎて融雪に使われていることがすごいです。



Woo Hyeonjeong  
(South Korea)

## 県国際課 韓国国際交流員 ウ・ヒョンジョン (禹・賢正)



**Q: 出身はどこですか？**

A: 韓国のソウルです。

**Q: 富山に住んでいて一番良いと思うところは？**

A: 自然が身近にあることです。中でも、天気の良い日に立山連峰がきれいに見える景色が一番好きです。これまでずっと都会で生活してきて、自然とはあまり関わりがありませんでしたが、富山では電車に乗ればすぐ海にも行けます。自然を感じたいと思った時に、すぐに行ける環境があるところが魅力だと思います。

**Q: 富山での生活で一番びっくりしたことがありますか？**

雨と雪がととても多いことです。

ほとんど毎日、傘を持ち歩く生活は初めてで、最初はなかなか慣れませんでした。今は富山の天気にもだいぶ慣れてきて、もともと雪が好きなので、雪がたくさん降る富山の冬が好きになりました。



Le Cong Vuong  
(Vietnam)

## 県国際課 ベトナム国際交流員 レ コン ヴォン



**Q: 出身地はどこですか？**

A: ベトナムのダナン市から来ました！

**Q: 富山での生活でびっくりしたことは何ですか？**

A: 富山に来る前、富山の冬は寒いものの、雪はそれほど積もらず、ブーツを買わなくても問題ないと思っていました。しかし、実際に富山に来たあと、想像以上に雪が積もることに大変驚きました。そのため、慣れない雪道で何度も転んでしまいました(笑)。それでも、私は雪が好きなので、転んでも痛いとはあまり感じませんでした。

**Q: 富山の好きなところは何でしょうか？**

A: 春になると、世界で一番美しい風景があるといわれているスターバックスの桜並木の下を散歩すると、心が落ち着きます。また、五箇山をはじめとする冬の富山県の景色は非常に美しく、まるで絵画の中に入り込んだような気持ちになりました。



Malyavantam  
Gangadharasetty  
Rachana  
(India)

## 県国際課 インド国際交流 マリヤンワントン ガンガダラーセティー ラチャナ



**Q: 出身はどこですか？**

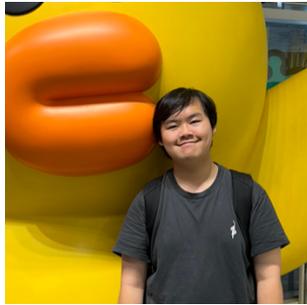
A: インドのカルナタカ州のベンガルールです！  
インドのシリコンバレーです。

**Q: 日本でどんな食べ物を食べ歩きたいですか？**

A: 麺類です。日本のいろんな所を旅行して、各地の違う種類の麺を食べたいです。

**Q: 富山に来て思い出に残ったエピソードは？**

A: 私にとって富山を思い出させるものといえば、県内一面に広がる美しい雪景色です。見渡す限り、すべてが真っ白な雪のじゅうたんに覆われていて、本当に美しい光景です。雪の降らない南インド出身の私にとって、これは一生大切にしたい富山の思い出のひとつです。



Zheng (Eugene) Yung  
(United States)

## 入善町 国際交流員 ヨン・ユージン・ジェン



**Q: 出身はどこですか？**

生まれは香港で、育ちはロサンゼルスです。

**Q: なぜ日本に来ましたか？**

幼い頃から日本文化に強く惹かれ、特にアニメや漫画などのサブカルチャーに興味を持ちました。次第に日本の言語や文化背景にも関心を抱き、高校から9年間、日本語を勉強してきました。日本で生活することはずっと夢でした。

**Q: 富山に来てから思い出に残るエピソードがありますか？**

これまで都会の賑やかさに夢中で、毎日忙しい日々を過ごしてきました。富山、特に今住んでいる入善での生活は、それとはまったく異なります。最初は、まるで急にブレーキを踏んだように、ゆったりとした生活リズムに慣れるのが難しかったですが、今ではこの穏やかな日々を愛おしく感じ、大切に過ごしています。



Zhikun (Jerry) Lin  
(United States)

## 高岡市 国際交流員 ジークン・ジェリー・リン



**Q: 出身地はどこですか？**

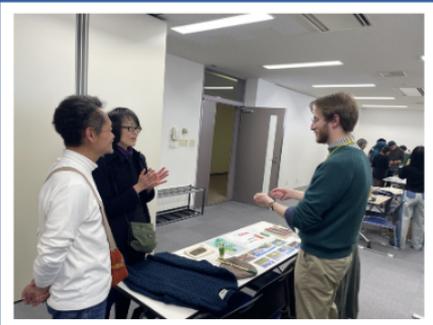
A: 第一出身は生まれの中国・黒竜江省です。中学からアメリカに移住して、第二出身はアメリカ・ニューヨーク州です。

**Q: 日本の食べ物で一番好きなのは？**

A: ラーメン。同じ料理と言っても店によって様々な味と食材を味わえるのが好きです。今は富山ブラックもよく食べているし、県外に行く時、地元のラーメンがどんな味なのかを知るのも、旅行の楽しみの一つです。

**Q: 富山に来てから思い出に残るエピソードがありますか？**

A: 今住んでいる高岡市の古城公園によく行っています。どんな季節でもそれぞれの美しさを楽しめるのがすごいと思います。富山に着いてからまだ一年足らずですが、秋の紅葉も冬の雪景色も素敵でした。今も、間もなく訪れる桜の光景を楽しみにしています。



JET 世界まつり2026  
報告書

JET World  
Festival 2026:  
A Report

